

福は内 大節分祭

善慶寺の福厳寺(松浦彰一住職)で春の恒例行事、大節分祭が2月3日に開かれました。建て替えられた新しい本堂で行われた51回目の伝統行事に住民や関係者が大勢集まりました。

1年の家内安全と無病息災を祈り、福豆やミカン、菓子などが投げられると、参拝者は福をつかもうと、夢中で手を伸ばしました。

また、地元の女性たちが熱々のけんちん汁や甘酒を振る舞い、参拝者をもてなしました。



目指すは日本代表！小幡さん



小幡みなみさん(新屋小6年・群馬ジュニアハンドボールクラブ)はハンドボールのU-16日本代表選考合宿(NTA)のメンバーに選ばれ、2月8日から10日まで味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都北区)で行われた合宿に参加しました。

この合宿は優秀な選手を対象に専門的で高度な技術や国際感覚、教養を身に付けることを目的としているもので、全国から高校1年生までの25人が選抜されました。

小学生で唯一選ばれ参加した小幡さんは「NTAでは周りが全員先輩だったので、レベルの高いハンドボールを経験でき、とても楽しかった。今後もNTAなどの合宿に参加できるよう、練習を続けていきたいです」と話してくれました。将来ハンドボール女子日本代表「おりひめジャパン」で活躍することを目標とする小幡さんのさらなる躍進が期待されます。

キウイフルーツ品評会で知事賞受賞 柴山さん

キウイフルーツの第29回県品評会が1月25日、県庁県民ホールで開かれました。糖度や形、果肉の色などが審査され、最高賞の知事賞に柴山シズ子さん(轟)の「ヘイワード」が選ばれました。夫の潤壺さんが中心となって40年近くキウイフルーツの栽培を続けており、今回潤壺さんも県農業協同組合中央会長賞を受賞しました。

柴山さんは「おいしいキウイフルーツを多くの人に食べてもらいたいという気持ちで収穫しています。キウイに合ったこの土地で、できる限り栽培を続けていきたいです」と話されました。

このほか町からは県議会議長賞に山田省吾さん(轟)、全農県本部運営委員会会長賞に山田朝子さん(轟)、上毛新聞社賞に田村泰正さん(轟)が選ばれました。



二人三脚でキウイの栽培をしている柴山さんご夫妻

関東で甘楽中の名を刻む 駅伝部

第14回関東近県中学生新人駅伝競走大会が2月4日、山梨県南アルプス市の楡形総合公園で開催され、甘楽中駅伝部の女子が第2位、男子が第6位に入賞しました。

女子1区の高橋雛乃さん(1年)、3区の大類瑞季さん(1年)、男子1区の堀口花道くん(2年)が区間賞を獲得しました。



関東6位の駅伝部男子

大会最優秀選手に選出された高橋雛乃さんは「関東大会では2位に入賞し、個人では1区の区間賞を獲得してチームに貢献することができました。

また、最優秀選手賞(MVP)も受賞してすごうれしかったです。これも先生方や支えてくださった多くの方々のおかげだと思います」と話してくれました。



関東2位の駅伝部女子

ハンドボール1年生県大会優勝 甘楽中

県中体連ハンドボール部1年生大会が1月28日に富岡市民体育館で開かれ、甘楽中男子ハンドボール部が初優勝を果たしました。

また、女子は1年生が1人のため富岡西中・妙義中との合同チームで出場し、優勝しました。新年度に向け、さらなる活躍が期待されます。



初優勝した男子ハンドボール部



女子ハンドボール部の山田さん

優勝した26区の選手



26区が優勝! 新屋卓球大会

体育協会新屋支部(堀口康孝支部長)は2月4日、第26回卓球大会を甘楽町体育館で開きました。

区対抗の団体戦で中学生以上の男女がリーグ戦で熱戦を繰り広げました。

優勝した26区の皆さんは「3年ぶりの優勝でリベンジでき良かったです。中学生の選手が参加してくれたので勝つことができました」と喜びを話しました。

試合の結果は次のとおりです。

- ◆優勝 26区
- ◆準優勝 24区
- ◆第3位 23区

県 大会で入賞 上毛かるた大会

第43回甘楽郡子ども会上毛かるた大会(郡子ども会育成団体連絡協議会主催)が1月28日、ら・ら・かんらで開かれました。下仁田町、南牧村、甘楽町の予選を勝ち抜いた小学生69人が低学年・高学年の2部門(団体戦・個人戦)で熱戦を繰り広げ、各部門の優勝者は2月4日開催の第71回上毛かるた競技県大会に出場しました。

県大会では低学年個人の部で武田陽菜乃さん(すぎの子ども会・福島)が第3位、高学年個人の部で佐藤李音さん(青空子ども会・新屋)が第5位に入賞しました。



県大会で入賞した武田さん(右)と佐藤さん

郡大会で入賞した皆さん



郡大会の結果は次のとおりです。(敬称略)

低学年の部

- 【団体】 優勝 たいよう子ども会(新屋)
準優勝 若草子ども会(新屋)
- 【個人】 優勝 武田陽菜乃(すぎの子ども会・福島)
第3位 齋藤 湊(城町子ども会・小幡)

高学年の部

- 【団体】 第3位 町子ども会(小幡)
- 【個人】 優勝 佐藤李音(青空子ども会・新屋)
第3位 齋藤茉凜(にこにこ子ども会・福島)

読 書の感動を絵画で表現

甘楽郡小学校読書感想画展が1月27日から2月23日まで、ら・ら・かんらで開かれました。

これは読書の感動を絵画で表現することで児童の読書力や表現力を養い、読書の活動を振興することを目的に行われているもので、郡内から指定読書の部・自由読書の部に490点の応募があり、郡図書主任会審査会で入選した30作品が展示されました。

最優秀賞に輝いた児童は次のとおりです。(敬称略)

- ◇低学年指定読書の部 生形悠一郎(福島小2年)
- ◇高学年自由読書の部 鈴木結奈(新屋小4年)

絵画と感想を合わせて展示



園 児に読み聞かせ 福島小



練習の成果を発揮し絵本を読む児童

福島小学校4年生(34人)は1月25・26日、福島幼稚園で園児に絵本の読み聞かせを行いました。

これは児童が本に親しみ、園児との交流を深めることを目的に今年初めて行われたものです。児童は6グループに分かれ、日本絵本賞読者賞候補絵本24冊の中からそれぞれ選んだ絵本を気持ちを込めて読みました。園児たちは真剣な眼差しで聞き、読み聞かせをしてくれた児童たちに感想を話して一番良かった絵本の投票を行い、交流しました。

須田さん ギャラリーを開設



人間国宝・名誉町民の須田賢司さん(小幡)が1月20日、自宅敷地内に「木工藝ギャラリー清雅-SEIGA-」をオープンしました。

このギャラリーは多くの人に木工藝の作品を觀賞してほしいと須田さんが開設したもので、現在は須田さんの作品をはじめ須田さんの父や祖父、漆芸の外祖父らの作品を展示しています。ギャラリーのほかにも創作工房や若手作家が技術を学ぶ工房を新設された須田さんは「普段なかなか見ることのできない資料やほかのジャンルの工藝も展示していきたいと思います。ぜひお越しください」と話されました。

開廊は土・日曜日の午前10時～午後4時まで。臨時休廊もあるため、詳細は須田さんのホームページ(www.mokkougei.com)を確認するか事前に連絡(☎74-6721)のうえ、お出かけください。

貴重な品々を展示 お宝展

甘楽町郷土史研究会(齋藤正豊会長・会員16人)は2月8日から12日まで、町文化会館で「私のお宝展」を開きました。

町文化協会所属の同会会員などが所有する屏風や掛け軸、漆器、金工品、世界の名石などさまざまな品が並びました。毎年違った所持品が集まる展示会では、会員が来館者にお宝の解説もしています。

齋藤会長は「今回は文化協会発足50周年を記念して多くの人に協力をしていただいた。貴重な品々をたくさんの人に見てもらいたいです」と話されました。



検地帳や掛け軸を鑑賞する来館者

六条大麦でヒンメリ 横山さん



黄金に輝くヒンメリを制作した横山さん

横山美幸さん(福島)は昨年フィンランドの伝統品であるヒンメリを制作しています。ヒンメリはわらに糸を通し、立体的につなぎあわせてつるすもので、ゆらゆらと揺れる姿が幻想的な装飾品です。

横山さんは今年度ストローを使ったヒンメリ作りを町内各小学校の放課後子ども教室で児童に教えました。本来の素材で作りたいという思いから、良質な麦わらを探し求め、JA甘楽富岡の紹介で富岡市の農家から提供してもらった六条大麦で作品を完成させました。

横山さんは「六条大麦のわらは茎が太くてつやがあり、地域の自然素材を使って納得いく作品ができました。これからも身近な素材を使った物作りに挑戦し、子どもたちにも教えていきたいです」と話されました。

甘楽ラージボール卓球会



◆代表者 青木重次(金井) ◆会員数 50人 ◆設立年 平成21年

活動内容

毎週月・火・水・金曜日と月2回土曜日(月曜日は正午から午後2時30分まで、そのほかは午前9時30分から正午まで)に甘楽町体育館(白倉)でラージボール卓球の練習・練習試合を行っています。

クラブの特徴

高齢者向けのレクリエーションを目的とし、現在60代～80代の会員が活動しています。44mmのラージボールは一般的な硬球ボール(40mm)に比べ、ラリーを多く続けることができるので、初心者でも練習を重ね、大会へ参加することが可能です。



練習風景

→ 第15回甘楽交歓交流ラージボール卓球大会(2月14日開催)



今後の予定・目標など

当会主催の年3回の大会を充実させ、初心者向け卓球講習会を開催したいと思います。また、県大会への参加者の増員を目標にしていきます。

住民の皆さんに一言

生涯スポーツ、高齢者スポーツとして、ラージボール卓球はだれでも楽しくできます。興味のある人は練習日に気軽に町体育館へお越しください。